



「オニ」はそと！

南中図書館だより

2025年 2月号

今年の立春は、2月3日です。 前回、2月3日が立春になったのは、2021年ですから、4年ぶりですね。
立春の前日が節分、「季節を分ける日」です。 暦(二十四節気)のうえでは、立春からは「春」となりますよ。
とはいえ、坂井市の2週間天気予報によると、2月4日以降しばらく、最低気温がマイナスの日が続くようですが・・・
私たちが、実際に「春のおとずれ」を感じるのは、まだ先のようです。

昔から、季節の変わり目には、悪い鬼(=邪気)がやってきて、災いや病気をもたらすと
考えられてきました。 この邪気を払うための行事は、「鬼やらい」ともいわれます。

古代中国では、邪気払いとして「追儺(ついな)」という儀式が行われました。
四つ目で黄金色の怖い顔をした面をつけた、「方相氏(ほうそうし)」の役をした
人が、鬼を恐れさせる内容の舞をおこない、宮中から鬼を払いました。



日本には、奈良時代以降に、追儺の儀式が伝わりました。

源氏物語の中に、若紫(のちの紫の上)が、人形遊びをしていたとき、犬君が「鬼やらい」といって暴れて、人形の御殿を壊
してしまった・・・という場面があります。 平安時代には、まだ現在のような「豆まき」は行われていません。
炒った大豆をまく「豆まき」の形になったのは、室町時代ごろからと言われています。

古来より、米や豆などの穀物には、神様の力が
宿っていると信じられてきました。

邪気には、病気のほかに、嫉妬や妬みなどの
よくない考え方も含まれています。

2月2日、「豆まき」ができる環境の人はぜひ！
私たちも、大豆の持つ「神様パワー」でもって、
邪気を追い払ってしまいましょう！

参考文献

『ポプラディア情報館 年中行事』 ポプラ社

『子ども歳時記 12か月』 講談社

『日本の「なぜ？」に答えるお話 366』 PHP研究所

『あさきゆめみし 2』 講談社青い鳥文庫

< 3年生のみなさんへ >

いよいよ3月には、この南中を卒業となりますね。
3年間、南中図書館を利用して、ありがとうございました！



毎年この時期は、「受験を控えているので、本を読んでいる時間がない」という声をよく聞きます。

そこで、今年は、**3年生さんへの貸出を、「2月28日(金)まで」**に延長します。
受験が終わってから、思う存分、読書を楽しみましょう！

※ 3年生さんの最終返却日は、**3月5日(水)**です。

この日までに、3年生全員、南中図書館の本を返却してくださいね。



図書館だより de

Bibliobattle

ビブリオバトル!

この本を、
「推し」ます!

みなさん、1月の「図書館だより de ビブリオバトル」に参加してくれて、ありがとう!

1月のチャンプ本には、投票参加総数 219票 (複数回答のものも含みます) のうち、64票を獲得した、



『夜が明けたら、いちばんに君に会いにいく』 が選ばれました!

2024年度 最後の「図書館だより de ビブリオバトル!」の推し本は、こちらの6冊です。
みなさんの投票を、お待ちしております!



A

『ドラゴンボール超
スーパーヒーロー』
鳥山 明

このシリーズでは珍しく、主人公が孫悟空ではなく、孫悟飯です。平和になった地球に、あらたな危機がせまります。かつて世界を恐怖で支配しようとした、レッドリボン軍が復活... 闘いのゆくえは!?
(2年生)

B

『あの花が咲く丘で
君とまた出会えたら』
汐見 夏衛

主人公が、戦争時代にタイムスリップする物語です。戦争の辛さや、登場人物の発言がとても切なくて、泣かない人はきっといないくらい、感動します。
読んで損はない、とてもいい物語です。
(1年生)

C

『変な家 2』
雨穴

この本には、いろいろな人物が出てきて、意外なつながりがあります。①~⑪のストーリーを組み合わせると、思っていたのと違う、意外な結末になります。
自分でも考察しながら読めます。
(1年生)

D

『私が彼を殺した』
東野 圭吾

男の庭先で、裏切られた女性が自殺した。すでに、別の女性と婚約していた男は、死の事実を隠して、結婚式へと向かうが、その最中に殺される。推理のカギは、死因の毒入りカプセル。
あなたは、真実に迫れるか?
(2年生)

E

『余命10年』
小坂 流加

二十歳の茉莉は、数万人に一人という、不治の病に倒れ、自分の余命が10年であることを知ります。未来に対する諦めから、死への恐怖が薄れ、淡々とした日々を過ごしていきますが...
涙より切ないラブストーリーです。
(3年生)

F

『人狼サバイバル
以心伝心!無人島の人狼ゲーム』
甘雪 こおり

人狼サバイバルを、何度も生き延びたハヤトとウサギの二人に、熱帯の孤島という新たな舞台が用意されます。人狼らには、意外にもいろいろな役職があります。戦略の多さが、この本の魅力です。
(1年生)



・あえのがたり (能登半島応援チャリティ小説企画)

・藍を継ぐ海 (第172回 直木賞)

・青春ゲシュタルト崩壊

・月ぬ走いや、馬ぬ走い

・シャーロックホームズの凱旋

・月の光の届く距離

・旅する練習

・君だけの幸せって、なんだろう? 10才から考えるウィルビーイング

・天使の棲む部屋

・2025 入試に勝つ新聞記事

・マンガでわかる スマホ脳の恐怖

・ヤングタイマーズのお悩み相談室

・ネットでいじめられたら、どうすればいいの?

・「好き」を言語化する技術

・バッタを倒すアフリカで

・時帰りの神様

・小説ブルーロック ⑨・⑩

・四つ子ぐらし ③・④

・文豪ストレイドッグス

・ようこそ実力至上主義の教室へ 2年生編 12.5

・呪いのシンプトム (天久鷹央の推理カルテ)

・ドラえもん科学ワールド おもしろ工学入門

・5分後に意外な結末 Q・QUIZ

ほか

2月に入った本です!

「新刊コーナー」に無い
場合は、予約してね!

